

木のまわりは6m、ちよっけい2m、高さやく50mで村中でいちばん大きい木といわれています。

③坂本かんのんの石ぞう馬（さかもと）

わかぐり～坂本の村道のすぐそばにあります。2頭の石の馬がありますが左がめす馬で明治37年、右がおす馬で昭和10年にできたものです。毎年3月18日におまつりがあるということです。

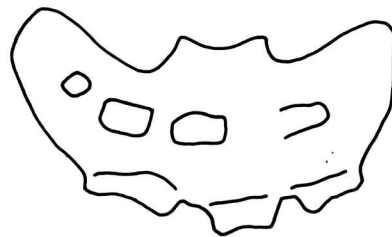
④ゆうきかんあと（かたみ）

表かたみ、えだ工むてんの前を左へ田んぼ道を入ると正面の山がそれです。むかし南北朝時代、白河ゆうき、宗ひろの弟、片見彦三郎すけよしのやかたあとと伝えられています。べつの名を形見かんといえます。

⑤よこやまいせき（よこやま）

昭和45年に子持勾玉ができました。おおつ大津さんがほかんしています。奈良、平安時代の住居あと、またこふんであったと考えられます。

子持勾玉



⑥まんとく寺のしだれざくら（そり町）

さくらの木では村でいちばん古いといわれています。木のまわりはやく4.8m、300年以上たっています。

⑦原田いせき（ふかにいだ）

道山のバスていりゅう所から少し西へ行くと右手にあん内板が見えます。かぶうち、きつねくぼからふかにいだ古とうばまでの東西やく1,300m、南北やく300mの耕地をいいます。やよいのむかしからなら、平安時代の住居あととみられます。

⑧宝金塔（かぶうち）

日吉神社の方へ細い道を行くと、左にあん内板があります。そのう